

第3回徳島県いじめ問題等対策審議会の議事内容について

人権教育課

第3回 徳島県いじめ問題等対策審議会の議事内容について

日 時	令和2年1月16日(木) 午前10時から正午
場 所	県庁10階 大会議室
会次第	<p>1 開 会 委員15名中14名出席</p> <p>(1)教育委員会あいさつ 美馬教育長</p> <p>(2)会長あいさつ 阿形会長</p> <p>2 協 議</p> <p>(1)いじめ問題等対策検討部会から報告</p> <p>(2)平成30年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について</p> <p>(3)令和元年度 携帯電話等の利用状況アンケート調査結果について</p> <p>(4)その他</p> <p>3 閉 会</p>

協議内容

- (1)いじめ問題等対策検討部会から報告【不登校対策リーフレット(教職員用)について】
- ・昨年11月18日に第3回検討部会を開催し、審議会で委員の皆様方からいただいた御意見をもとに、できるだけ先生方に役立つものとなるように作成した。
 - ・リーフレットは、次年度に活用していただけるよう4月に教職員に配付していただく。予算と知恵を絞って作成しているので、研修等でできるだけ有効に活用していただけるようにする。
- (2)「平成30年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」について
- ・いじめ等の問題行動が起きたときに、学校はいじめられた児童生徒に寄り添いながら、双方の成長支援を行うため、解決までに時間を要する場合がある。
 - ・いじめが起こると学校の管理責任に焦点が当たることがあるが、問題なのはいじめた子どもの心の闇であり、学校はそこにどう関わって成長支援をしていくかが重要で、家庭と連携した指導や家庭支援が必要である。
 - ・先生方は多忙な中、いじめ等の難しい問題に向き合っているので、できる限り安心して授業に取り組めるように先生方を支えていく必要がある。
 - ・かつて学校現場が荒れていて先生と生徒がぎくしゃくしていた時期もあったが、現在は寄り添いを基本に丁寧で粘り強い指導がなされており、伸び伸びとした落ち着いた学校生活につながっている。
 - ・ヨモギはお餅に入れると栄養になり、傷口に塗ると薬になる。ヨモギのように、普段はそこにあるだけでも、何かあるときには役に立つような親になっていきたい。
- (3)「令和元年度 携帯電話等の利用状況アンケート調査結果」について
- ・最近、小学校高学年からの不登校の増加を実感しており、スマートフォンを長時間使用しがちになる時期とも関係しているのではないかと。
 - ・女子児童がSNSで知り合った男に連れて行かれた事件があったが、規制ばかりでなく、子どもたちの心の居場所がない状況にも目を向けていかなければならない。
 - ・小学校でも高学年を中心に、スマートフォンの安全利用に関する講演会を開催しているが、低学年からの開催を考える必要も出てきた。